

ポアレックス コーヒーミルの使用方法

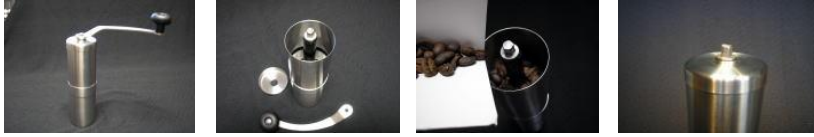
コーヒー豆を入れる

コーヒーミルは約30g(約3杯分)、コーヒーミル ミニは約20g(約2杯分)の焙煎したコーヒー豆を挽くことができます。

当製品は、焙煎したコーヒー豆を挽くために設計したミルです。

焙煎したコーヒー豆以外のご使用はおやめください。

刃の破損の原因になりますので、空回しはおやめください。



・キャップを外し、本体にお好みの量のコーヒー豆を入れ、キャップをします。
※キャップ、容器ともにはめ込み式ですので、ひねりながら抜き差しをすると簡単です。

粒度調節をする

- ・受け容器を外し、調節ネジを緩める(反時計回り)と粗く、締める(時計回り)と細かく挽くことができます。そのときは、キャップが外れないようにご注意ください。
- ・調節ネジを締めすぎたまま無理にハンドルを回すと、内刃と外刃がかみ込み、ハンドルが回らなくなります。そのときは無理なくハンドルが回る位置まで調節ネジを緩めてご使用ください。この状態が一番細かい粒度設定となります。ハンドルを無理に回すと破損の原因となります。
- ・調節ネジを締めすぎたままハンドルを回すと、外刃が本体回り止めから外れ、空回りすることがあります。本体回り止めが破損する等故障の原因となりますので、必ず本体回り止めに外刃をセットしなおしてください。
- ・調節ネジを回すと、「カチ、カチ」という手応えがあります。これを「クリック」という言葉で表現すると、一番細かい設定の状態から、調節ネジを何クリック緩めるかでお好みの粒度を設定する手がかりにしてください。



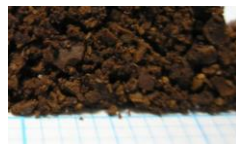
一番細かい設定



4クリック (1/2周緩める)



8クリック (1周緩める)



12クリック (1.1/2周緩める)



16クリック (2周緩める)

挽く

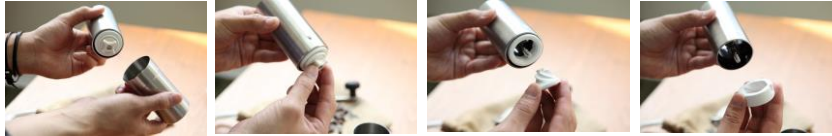


- ・受け容器を本体にセットします。
- ・ハンドルをシャフトの奥までしっかりとめ込み本体とハンドルを持ち、ハンドルを時計回りに回すとコーヒー豆が挽かれ、受け容器に粉が落ちます。
- ・ハンドルを水平に持ち、軽く下に押さえながらゆっくりと挽いてください。(ハンドルの穴の摩耗を防ぐため)



- ・本体から受け容器を外し、そのままドリッパー等に粉を移します。
- 外す際に、挽いたコーヒーの粉が散る可能性がありますので、ご注意ください。

分解



- ・受け容器を外します。
 - ・調節ネジを外します。
 - ・内刃を外します。
 - ・外刃を外します。
- (反時計回り)



- ・外刃
- ・内刃
- ・内刃ベース
- ・調節ネジ

部品4点に分解できます。



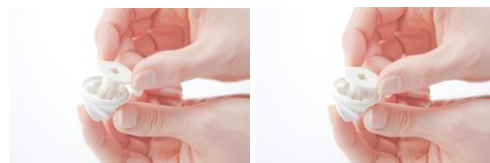
※本体内部のスプリングは外さないでください。

- ・内刃から内刃ベースは取り外すことができます。



-分解方法

内刃から出ている樹脂部をつまみ、内刃の中へ押し込み、反対側から引っ張ります。このとき、指の腹で内刃の中へ押し込み、内刃ベースをできるだけ下げていただきますと取り外しやすくなります。外す際に、内刃と内刃ベースの間に溜まったコーヒーの粉が散る可能性がありますので、ご注意ください。



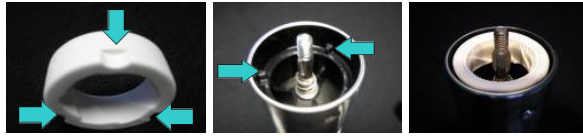
-組立方法

内刃ベース回り止め(内刃ベースの2カ所の突起)を内刃回り止め(内刃の4カ所の内2カ所の溝)に、合わせて、パチンと音が鳴るようにしっかりとめ込みます。

※セラミック製ミル刃内側に成形時の跡が残っている場合がありますが、この跡によって刃が破損することはないので、安心してお使いいただけます。



組立方法



- ・外刃の外周にある外刃回り止め(3カ所の溝)を本体内部の本体回り止め(3カ所の突起)に合わせて入れます。(回り止め部分に挽いた粉が無いこと確認してからセットしてください。)



- 外刃が①、②の状態になっている場合は回り止めに入っていません。③の状態にしてから内刃をセットしてください。①、② の状態で挽くと空回りして破損の原因となります。



- ・内刃ベースをつけた内刃をシャフトに通します。
- ・調節ネジの向きに気をつけて調節ネジをシャフトに通し、内刃を軽く押さえながら調節ネジを締め、本体に受け容器とキャップをします。
- ・調節ネジの向きについてリング状の出っ張りがある面を先にシャフトに入れ、内刃ベースへあたるようにセットしてください。

お手入れ



- ・ポーレックス コーヒーミル、コーヒーミル ミニは分解掃除をすることができます。いつまでも気持ちよくお使いいただくために、ご使用後のお手入れをおすすめします。
 - ・挽き終わった後は、刃や刃の周辺部に写真のように挽いた粉が残ります。そのままにしておくと、ご希望の粒度が得られなくなったり故障の原因となる可能性があります。
 - ・残った粉は時間とともに酸化していくので、翌回、コーヒー豆を挽いて風味を楽しむときに影響を及ぼす可能性があります。
 - ・本体と受け容器が重なる嵌合部にコーヒーの粉がはさまると、傷の原因になったり受け容器が取り外しにくくなる可能性があります。
 - ・セラミック刃は歯ブラシ等小さなブラシで、その他部品は柔らかいスポンジを使って水洗いすることをおすすめします。
- ※水洗い後は、よく乾燥させてからご使用ください。
※傷の原因になりますので、クレンザーや金属たわしでの洗浄はおやめください。
※煮沸消毒はおやめください。
※食器洗い乾燥機や電子レンジのご使用はおやめください。
※本体内部のスプリングは外さないでください。